

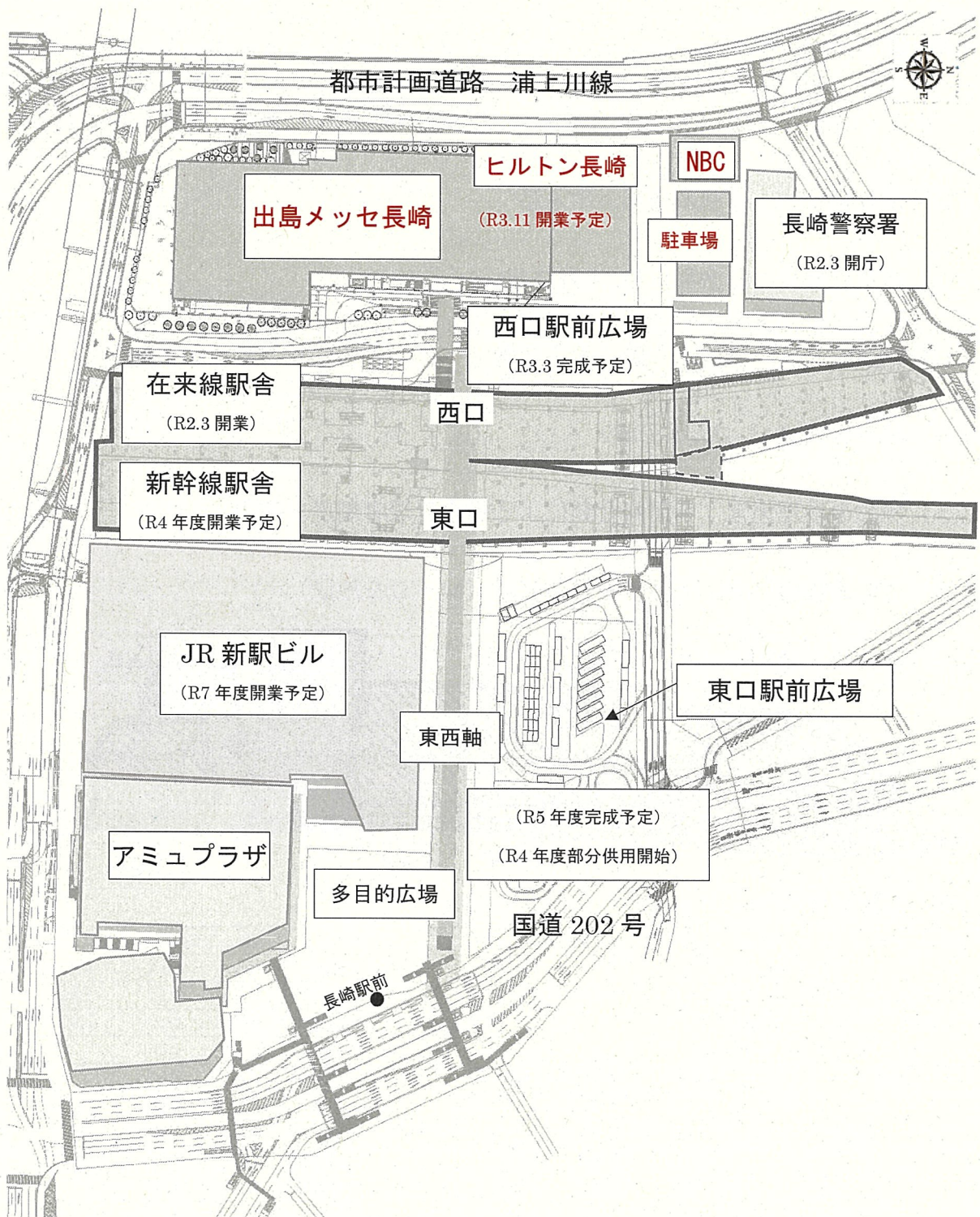
現地調査「出島メッセ長崎の進捗状況について」

	ページ
1 位置図	1
2 施設の概要	2～3
3 イメージパース	4
4 施設平面図・断面図	5～7
5 内装計画	8～13
6 屋上計画	14～15
7 新型コロナウイルス感染症対策等としての施設機能検討内容	16～17
8 民間収益事業の概要	18～19
9 出島メッセ長崎への誘致状況	20
10 MICEブランド開発の取組み	21～22

文化観光部

令和2年11月

1 位置図



2 施設の概要

(1) 施設名称 出島メッセ長崎

(2) 設置目的

学会、大会、展示会等の開催の場を提供し、国内外の人々の来訪及び交流を促すことにより、交流人口の拡大を図り、もって本市経済の活性化に寄与すること。

(3) 所在地 長崎市尾上町4番

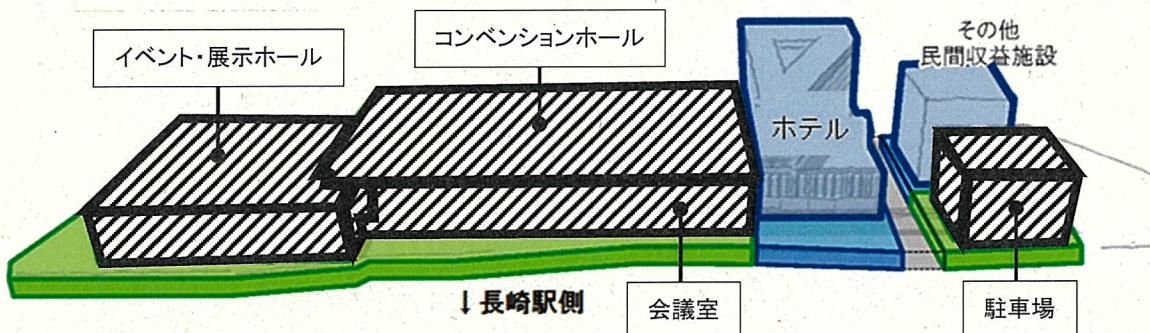
(4) 供用開始日 令和3年11月1日

(5) 階数 地上4階 地下1階

(6) 延べ床面積 33,517 m²

(7) 施設の管理運営 利用料金制による指定管理者制度を導入

(8) 公の施設の範囲 下図の斜線の施設 (MICE施設)



(9) 施設の仕様

室名		面積	天井高	床荷重		
2F	コンベンションホール	全面	約2,700m ²	約10m	-	
		3/4	約2,025m ²			
		1/2	約1,350m ²			
		1/4	約675m ²			
室名		面積	天井高	シアター形式	スクール形式	
1F	会議室1	1	約5m	200席	110席	
		2	約600m ²	約5m	200席	110席
		3		約5m	200席	110席
	会議室2	約210m ²	約5m	220席	120席	
	会議室3	約210m ²	約5m	220席	120席	
	会議室4	約60m ²	約3m	50席	20席	
	会議室5	約100m ²	約3m	90席	40席	
	会議室6	約60m ²	約3m	50席	20席	
	会議室7	約230m ²	約5m	220席	120席	
	会議室8	約230m ²	約5m	220席	120席	
会議室9	約100m ²	約3m	100席	40席		
会議室10	約100m ²	約3m	100席	40席		

室名		面積	天井高	シアター形式	スクール形式	
1F	会議室	会議室11	約80m ²	約3m	75席	30席
		会議室12	約30m ²	約3m	35席	12席
		会議室13	約70m ²	約3m	70席	25席
		会議室14	約20m ²	約3m	-	8席
		会議室15	約20m ²	約3m	-	8席
		会議室16	約20m ²	約3m	-	8席
		会議室17	約70m ²	約3m	70席	30席
		会議室18	約130m ²	約3m	130席	55席
		会議室19	約20m ²	約3m	-	10席
		会議室20	約20m ²	約3m	-	10席
会議室21	約20m ²	約3m	-	10席		
会議室22	約20m ²	約3m	-	10席		
室名		面積	天井高	床荷重		
1F	イベント・展示ホール	全面	約3,800m ²	約12m	5t/m ²	
		1/2	約1,900m ²			

ア コンベンションホール

分割利用（4分割）も可能な平土間のホール。講演会、大会、レセプション等様々な利用形態に柔軟に対応。

【面積】約 2,700 m²

【天井高】約 10m



イ イベント・展示ホール

分割利用（2分割）も可能な平土間のホール。展示会、イベント、コンサート等に対応。長崎初の本格的な展示ホール。

【面積】約 3,800 m²

【天井高】約 12m

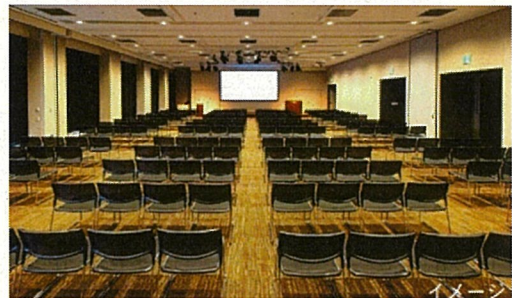
【床荷重】5 t / m²



ウ 会議室

大中小様々なタイプの 24 部屋の会議室。各種セミナーから控室利用など、様々な催事に対応。

【面積】約 20~600 m²まで



エ ペDESTリアンデッキ

出島メッセ長崎と長崎駅西口を結ぶ歩行者専用通路。雨天時は雨に濡れずにアクセス可能。エレベーターも完備。



オ 駐車場

出島メッセ長崎及び民間収益施設の駐車施設を集約した自走式駐車場。

【駐車台数】393 台

出島メッセ長崎利用者用 300 台

民間収益施設利用者用 93 台



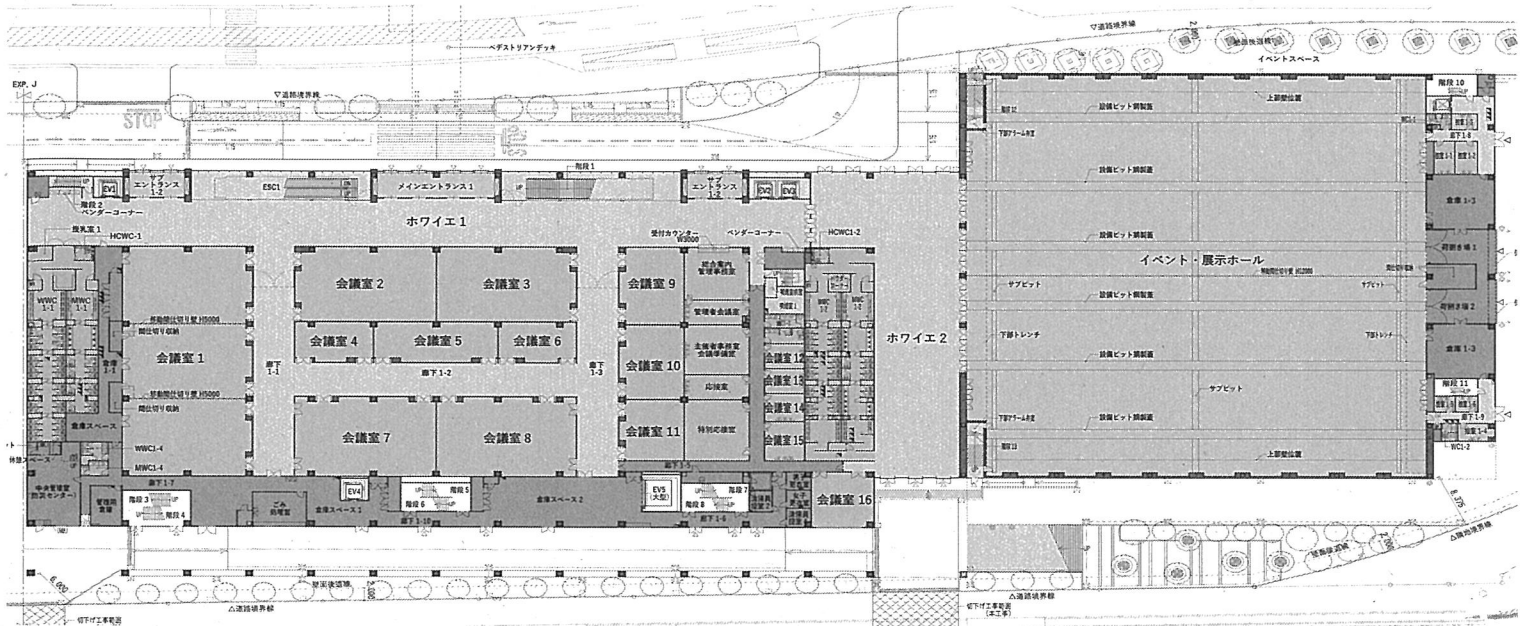
3 イメージパース



4 施設平面図・断面図

【1F平面図】

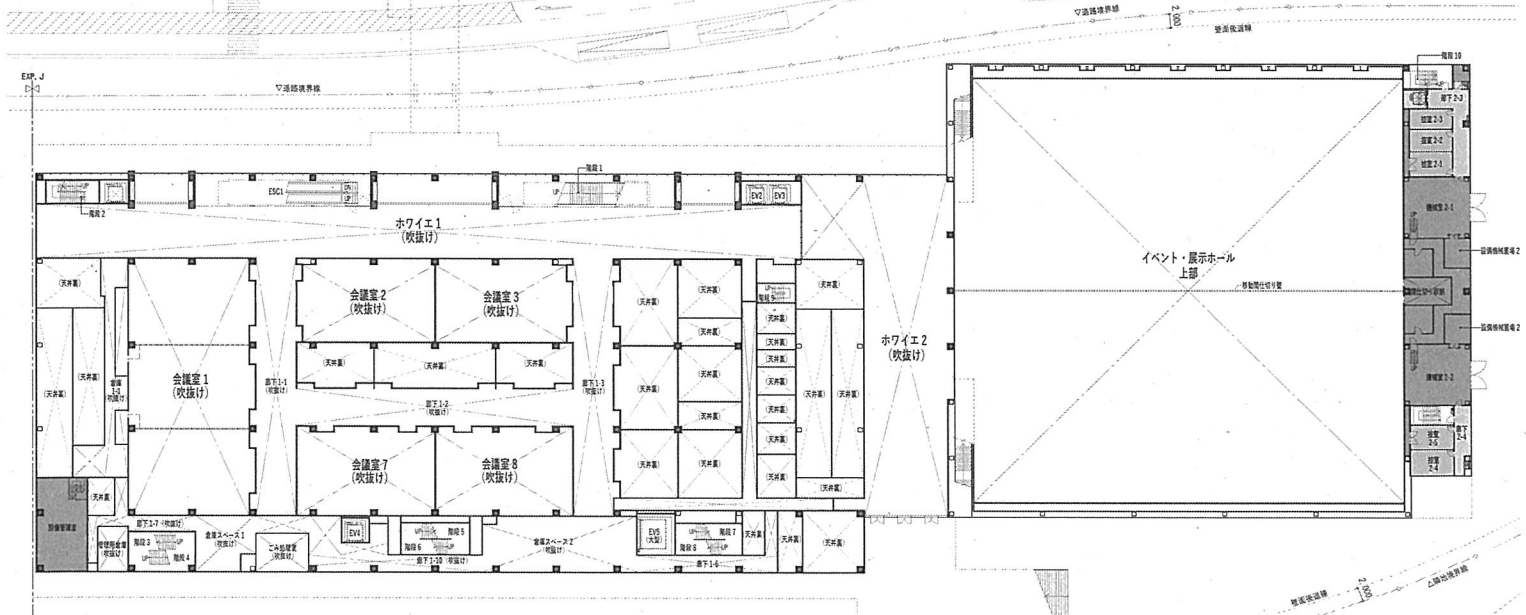
長崎駅側



浦上川側

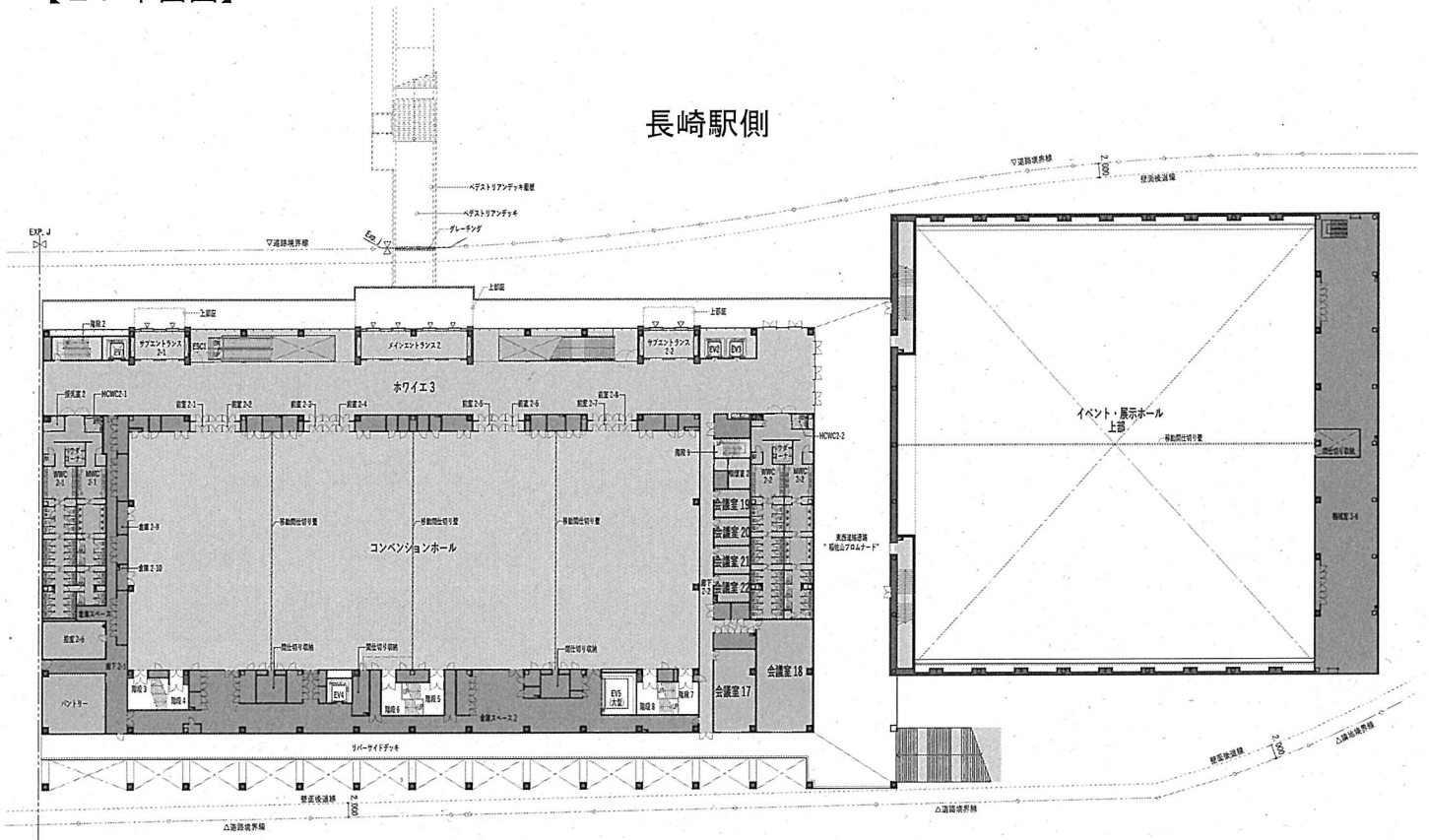
【中2F平面図】

長崎駅側



浦上川側

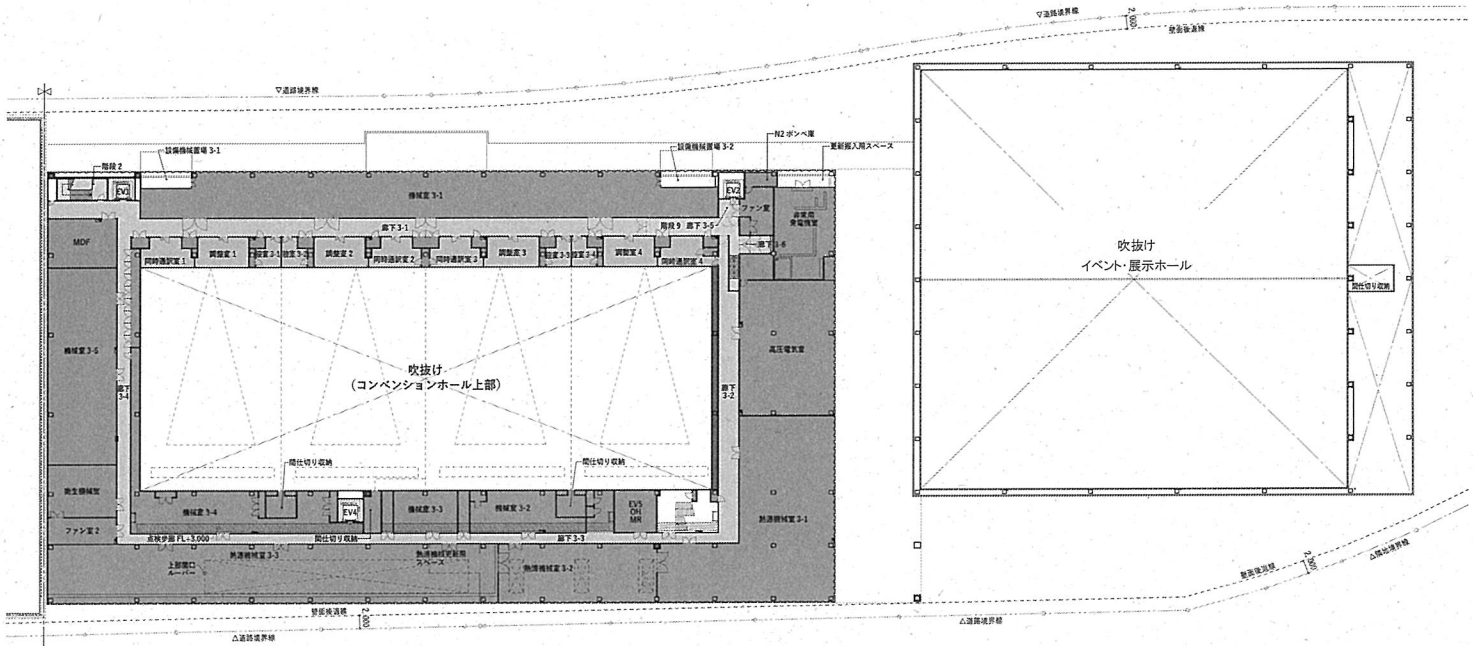
【2F平面図】



浦上川側

【3F平面図】

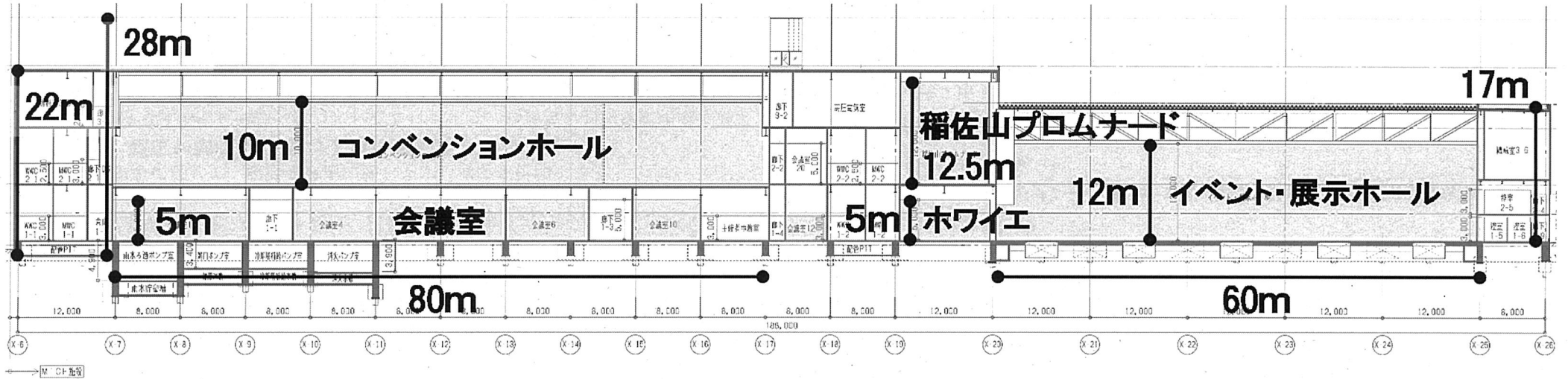
長崎駅側



浦上川側

【断面図】

※浦上川側から見た断面図



5 内装計画

(1) 内装計画の基本的考え方

ア 施設全体の基本的な考え方

“長崎の街並みや景観に溶け込む建物デザイン”

～豊かな水の流れに呼応するのびやかな建築形態。長崎市の景観の特徴である豊かな水景にとけこみ、あたかも以前から建っていたような風景を創出～

イ 内装に関する基本的な考え方

内装計画は、外装計画時の上記施設全体の基本的な考え方を踏まえ、長崎の街並みや豊かな水景などの唯一無二の景観に溶け込む外装との連続性を意識し設えます。エントランスであるホワイエは長崎の街並みの延長として捉え、長崎のアイコンをモチーフにお出迎え空間として設え、来館者を会議室やコンベンションホールへ期待感をもって誘います。

各諸室施設内においても長崎らしさの表現を模索しつつ、核心機能であるM/I/C/Eを受け入れるに相応しい機能性を備えた諸室内装を目指し、以下5点を諸室内装の中軸要素とします。

(ア) 長崎の地域資源や地域魅力の発信

県産材の木材を使用した木ルーバーを設置。温かみのあるイメージを付加する。外部からの来場者が、多様な「長崎らしさ」を感じられる内装計画とし、季節や催事等に応じて、装飾を自由に施しやすい機能を付加する。

(イ) 幅広いM/I/C/E受け入れへの対応

様々な主催者に幅広く使っていただけるよう、各諸室の利用想定用途に適した内装の素材や機能計画を検討する。

(ウ) 来場者・主催者の安全の確保

新たな視点で、感染症対策として抗菌素材の採用や密の回避を意識する。

(エ) 円滑に利用できるユニバーサルデザイン

催事を把握しやすい位置へのサインや案内の設置を行い、誰にでも使いやすい施設を目指す。(サイン計画は別途検討)

(オ) ライフサイクルコストの低減

仮設や大規模持込・設営が頻繁に行われるため、損傷に強く、メンテナンス性の高い素材や仕様を採用する。(床・壁・天井)

ウ 各室の想定用途

部屋	想定メイン用途	想定サブ用途
コンベンションホール	・閣僚級国際会議 ・全国規模団体の大会	・会議・学会に伴う懇親会 ・ポスターセッションや展示会
イベント・展示ホール	・各種BtoC催事（企業展示会等） ・学会併催展示・ポスターセッション	・各種エンタメイベント ・大型催事時のパーティー ・大会・講演等の会場
会議室 (大・中・小)	・小規模な国際会議や分科会 ・講演会・セミナーや企業の会議 ・市民による利用	・小規模なポスターセッション ・公的試験・研修 ・大型催事のサブクローク
ホワイエ・廊下等	・円滑な主会場へのアクセス空間	・長崎の魅力発信空間
応接室	・VIPや主催者および関係者の控室	・主催者打ち合わせ室

エ 各室のキーコンセプト

■ コンベンションホール

“国際会議等に対応するグレードを備えつつ、幅広い用途に利用できる自由度の高い空間”

■ イベント・展示ホール

“大規模な仮設設備の設営ができ、どんな催事にも調和し寄り添うシンプルな空間”

■ 会議室【大・中・小】

“機能的で大規模会議から市民利用まで幅広く使える数居の高さを感じさせない空間”

■ ホワイエ・廊下

“「長崎らしさ」を感じられる素材やモチーフをデザインし、地域の魅力を感じる空間”

■ 応接室

“用途に合わせて、機能的な内装な設備を備えた主会場の利便性向上に資する空間”

■ その他 対応可能な箇所には抗菌・抗ウイルス機能を持った内装材を選択。

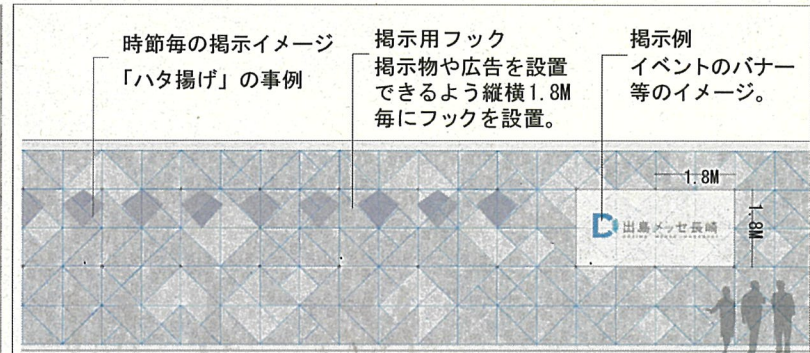
(2) ホワイエイメージ

“「長崎らしさ」を感じられる素材やモチーフをデザインし、地域の魅力を感じる空間”

- ・床：石目調のメンテナンス性に優れた磁器質タイルを石畳をモチーフにデザイン貼。
- ・壁：文化が交わる長崎をイメージし、ひし形をベースに幾何学模様でデザイン。
 広告・サイン等懸垂幕の設置も考慮。
- ・天井：懸垂幕等の設置を考慮した、吸音性能を持った天井。
 溶融亜鉛メッキ仕上げと木毛セメント板のパターン貼。



天井：ファインフロア
 スチール溶融亜鉛メッキ仕上げ
 木毛セメント板 塗装

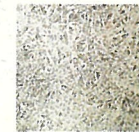


時節毎の掲示イメージ
 「ハタ揚げ」の事例

掲示用フック
 掲示物や広告を設置
 できるよう縦横1.8M
 毎にフックを設置。

掲示例
 イベントのバナー
 等のイメージ。

使用素材の検討 木毛セメント板：
 木毛セメント板は、耐朽性・断熱
 性・調湿性・吸音性に優れた素材
 です。リボン状に削った木材と水
 ・セメントのみが材料という、地
 球にも人体にも優しい素材です。
 塗装はホワイト又はライトグレーの
 濃淡種類でパターンを浮かび上が
 らせます。



目地の検討：
 ボードとボードの
 間の目地にはアク
 セントして、出島メ
 ッセ長崎ブルーや
 紫陽花ブルーの色
 味で目地を検討して
 います。

柱型：押出成形セメント板
 カラークリア塗装
 サッシ・自動扉：ブラック

床：磁器質タイル
 ランダムデザイン貼

壁：デザインパターン貼

(3) 長崎らしさの検討

季節ごと、催事ごとに変化する壁面、天井

長崎は多文化が共存している都市です。

どの季節に訪れても様々な文化を発信する壁面、天井とします。



「ハタ揚げ」設置イメージ



「ランタン」設置イメージ

(4) コンベンションホールイメージ

“ 国際会議等に対応するグレードを備えつつ、幅広い用途に利用できる自由度の高い空間 ”

- ・ 床：歩行感が良く、汚れが目立たない連続感のある模様があるタイルカーペットを採用。
キャリーケースや車椅子使用者に配慮した円滑に移動しやすい毛足を検討し下記仕様を採用。
- ・ 壁：落ち着いたあるアースカラーの色調を選択、木ルーバーとの調和を図る。県産材の木材を使用した木ルーバーを設置。温かみのあるイメージを付加。
- ・ 天井：白色をベースとした主張しない、吸音性能を持った天井。

イメージパース作成中

資料当日配付

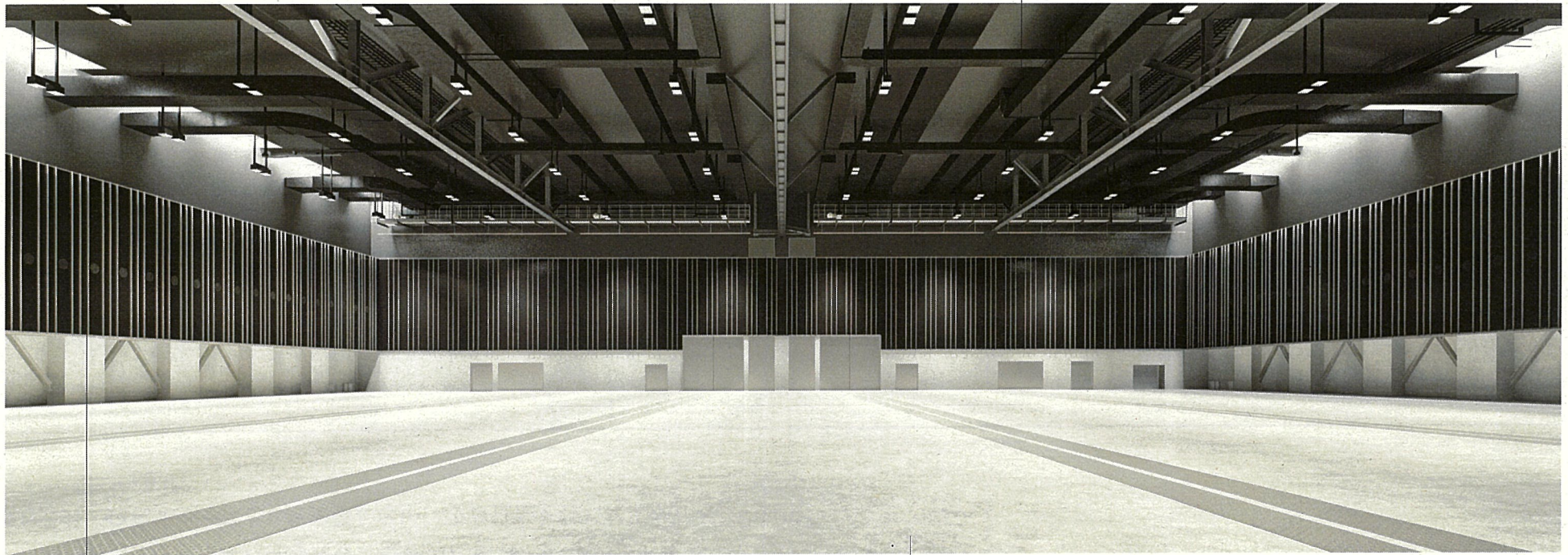
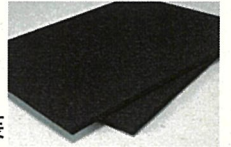
(5) イベント・展示ホールイメージ

“大規模な仮設設備の設営ができ、どんな催事にも調和し寄り添うシンプルな空間”

- ・床：重量物やタフな使い方に耐えうるコンクリート仕様。
- ・壁：外観のイメージを踏襲し、催事が際立つモノトーンの色調。
県産材の木材を使用した木ルーバーを設置。温かみのあるイメージを付加。
- ・天井：天井スラブに黒色のガラスクロスを設置し吸音性能を確保。構造部材もモノトーン仕様。

天井：ガラスクロス吸音ボード
ブラック

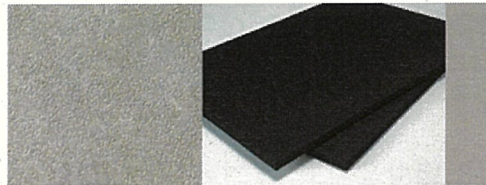
トラス梁：チャコールグレー塗装



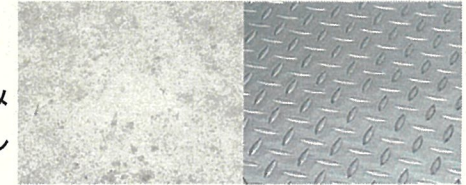
壁：0 ~ 3.0mまで
ビニルクロス（表面硬化仕様）

3.0m ~
ガラスクロス吸音ボード
ブラック

木製ルーバー：オイルステイン塗装



床：コンクリート 床用防
塵塗装 クリア塗装
設備ピット蓋：溶融亜鉛メ
ッキ仕上げチェッカープレ
ート

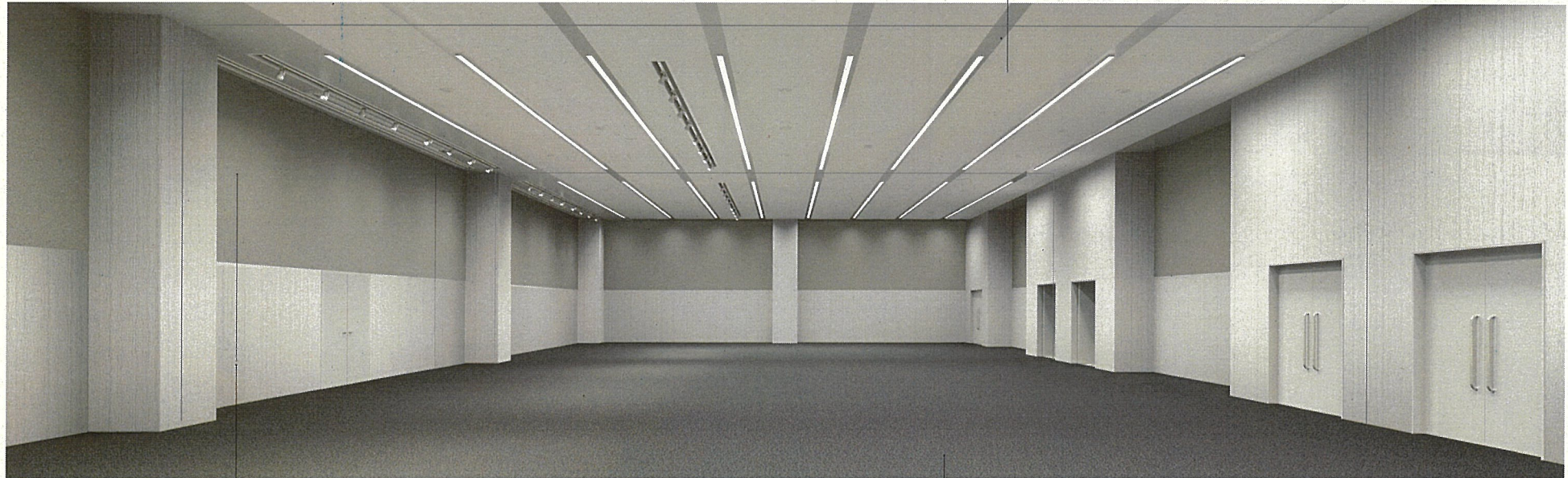
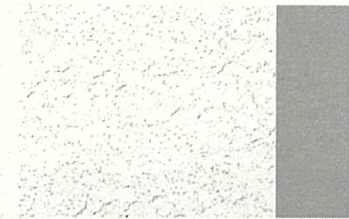


(6) 会議室イメージ

“ 機能的で大規模会議から市民利用まで幅広く使える敷居の高さを感じさせない空間 ”

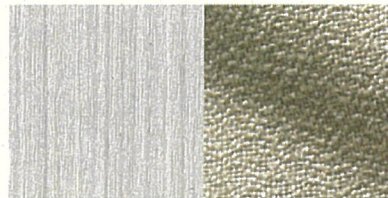
- ・床：タイルカーペットを採用。汚れが目立たない模様があり、汎用性の高いもの。
- ・壁：落ち着いたあるモノトーンをベースにした色調・柄。
- ・天井：吸音性能を確保した天井。オフィス仕様と同等（白色）。
- ・長崎らしさ：アクセントとなるモチーフを設置。（検討中）

天井：岩綿吸音板

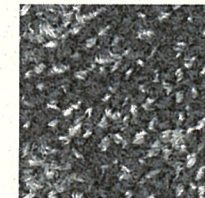


1階会議室1

壁：ビニルクロス
ガラスクロス吸音ボード



床：タイルカーペット



6 屋上計画

(1) 屋上デザイン

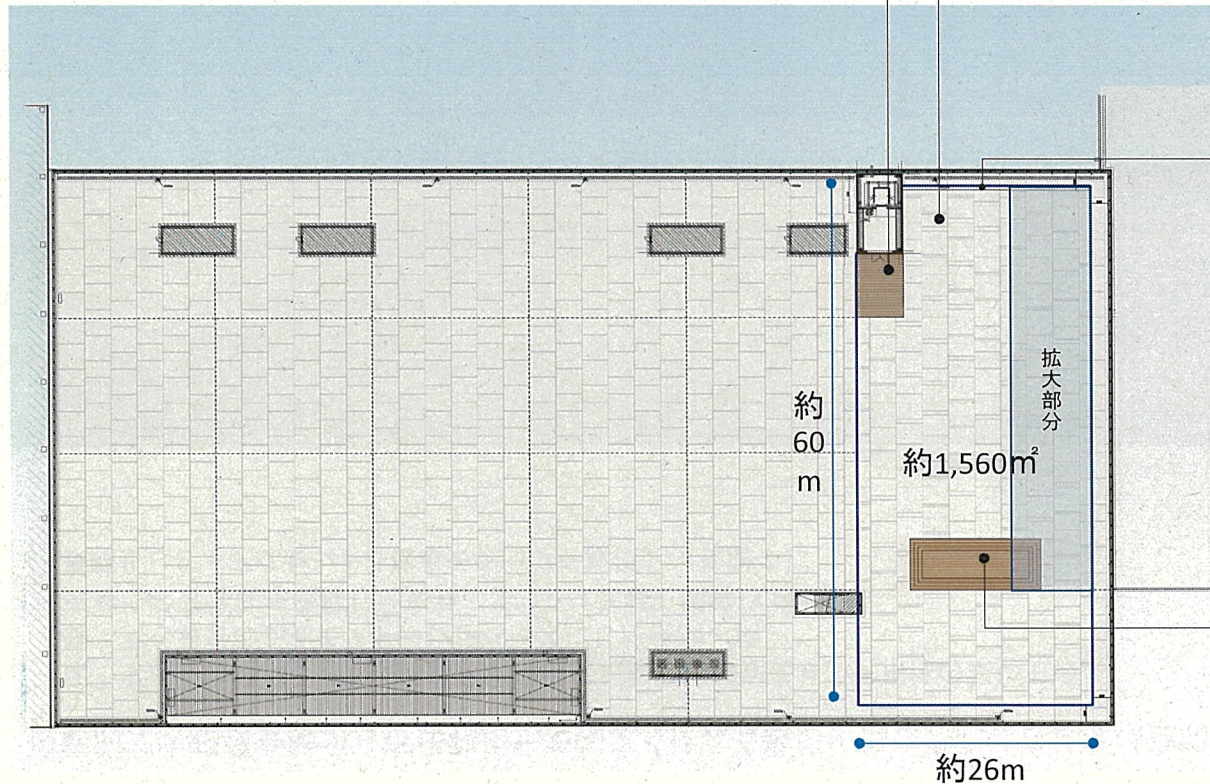
屋上テラスは長崎の”キャンパス”として整備します。

長崎の景観の焦点となる重要なエリアに立地するため、そのエリアの屋根については、固定のデザインではなく、様々な催事、イベントが開催できるようにフリースペースとするのが相応しいと考えます。

そのため、主催者の自由な発想により利活用できる場とします。

利活用の一例（主催者の持ち込みにより実施）

- ・アフターコンベンション（カクテルパーティー等）
- ・キャンドルナイト
- ・健康イベント（ヨガ大会等）
- ・ライブ（アコースティックライブ等、大型の機器を持ち込まない規模）



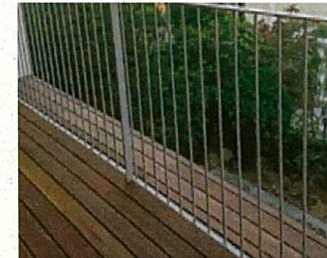
①ウッドデッキエリア：
人工ウッドデッキ敷き
EVホールと床は同レベル スロープ付き

②押さえコンクリート目地
テラス範囲はアクセントとして
細目地を追加、楽しさ感を
演出

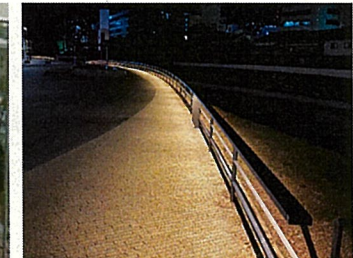


押さえコンクリートデザイン目地

③手摺：
縦格子手摺
溶融垂鉛メッキ仕上げ
H=1.2m



格子手摺イメージ



格子手摺照明夜景イメージ

④ビューデッキ
学会後の集合写真撮影や展望デッキとして整備。
イベント時のステージとしても活用可能。
（*高さ・規模等要検討）

⑤その他：
イベント用給水設備、電源設備を設置

(2) イメージパース



アフターコンベンションイメージ

7 新型コロナウイルス感染症対策等としての施設機能検討内容

(1) 施設機能検討の考え方

コロナ禍におけるMICE開催については、密閉、密集、密接のいわゆる「三密」を避け、「新しい生活様式」に即して実施する必要があることから、次のような施設機能の対応を検討している。

- ア ソーシャルディスタンスが十分に確保できること
- イ 十分な換気が行えること
- ウ 人数制限等への対応策としてWeb配信が可能なこと

(2) 検討内容

ア ソーシャルディスタンスの十分な確保への対応

会議室やコンベンションホールは、カーペット張りの平土間で自由なレイアウトが可能なことから、ソーシャルディスタンスを保った配席や飛沫感染を防ぐパーティションの設置などに柔軟に対応可能。

イ 十分な換気への対応

厚生労働省が新型コロナウイルス感染症対策専門家の見解を踏まえ推奨する、外気を取り入れる換気、必要換気量1人1時間あたり30m³をすべての部屋において満足。

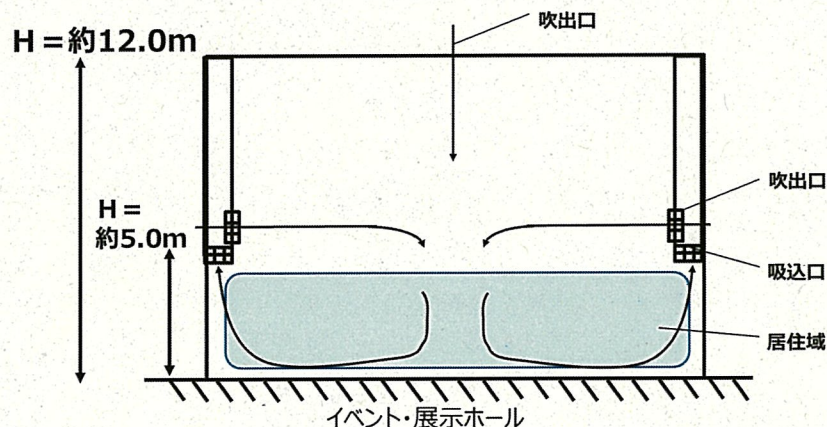
さらに、扉を開け仮設の送風機等を運転し換気時間を短縮することも可能。

(ア) 諸室の換気回数（括弧内の数値は扉を開け送風機等を追加設置した場合）

- ・ イベント・展示ホール 24分/回 → (18分/回)
- ・ コンベンションホール 18分/回 → (17分/回)
- ・ 会議室 5~11分/回 → (3~8分/回)

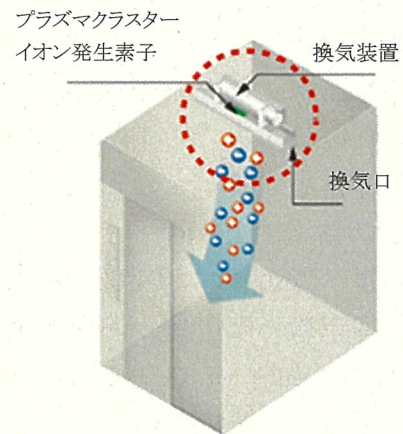
(イ) 特徴

天井高12mの高いイベント・展示ホールについては、高さ5mほどの位置に吸排気口を設ける、コンベンションホールについては吸気口を壁の下部に設けるなど、必要換気量を保ちながら居住域の効率的な空気の流れを作る工夫を行う。



(ウ) エレベーター

長崎大学などの実験で新型コロナウイルスに効果があるとされたプラズマクラスター技術を導入したエレベーターの設置(換気時間約3分)を検討中。



ウ WEB配信への対応

コンベンションホール、イベント・展示ホール、会議室など計5か所に通信事業者の大容量の光ケーブルを引き込む。

また、民間事業者が敷設・管理するため、将来的な容量増にも速やかに対応できる。通信環境を整えることで、オンラインと組み合わせたハイブリッド型の会議やeスポーツイベントなど、通信環境の強みを活かした催事にも対応可能。

エ その他

抗菌仕様の壁紙や、トイレにおいて、非接触型の手洗い・消毒設備の設置や、抗菌仕様の手摺などを検討中。

※【上記コロナ対策以外】

- ・イベント・展示ホールは、防音性向上のため遮音性の高いトリプル折板の屋根(50 dB低減)や穴あきコンクリート版の外壁を採用。
- ・コンベンションホールは2階にあるため、他の部屋に振動が伝わりにくくするため浮き床構造を採用。

8 民間収益事業の概要

(1) ヒルトン長崎

- ア 所在地 長崎県長崎市尾上町4番（長崎駅周辺土地区画整理事業15街区1画地）
- イ 建物設置者 M&H長崎ホテル合同会社
- ウ 運営者 株式会社グラバーヒル
- エ 階数 地上11階
- オ 延べ床面積 20,300㎡
- カ 客室数 200室（6F以上が客室となる）
- キ 付帯施設 レストラン（1F・2F）・フィットネスジム（5F）・温浴施設（5F）、
バンケット・チャペル（4F）等
- ク 構造 鉄骨造
- ケ 施設イメージ



(2) 長崎放送株式会社社屋

- ア 所在地 長崎県長崎市尾上町（長崎駅周辺土地地区画整理事業 4 街区 2、4 街区 3、4 街区 4）
- イ 建物設置者 長崎放送株式会社
- ウ 階数 地上 11 階
- エ 延べ床面積 9,055 m²
- オ 構造 鉄骨造
- カ 施設イメージ



9 出島メッセ長崎への誘致状況

これまでは、令和3年度のコンベンションホールや会議室を複数利用するような規模の大きな学会・大会や会期の長い学会を中心に誘致活動を行い、現在は、令和4年度の誘致を強化しているところである。経済界や大学等の協力もあり、開催決定・内定又は日程等調整中の案件は、令和3年度から令和6年度までの案件があり、約50件となっている。

また、県内企業の会議やセミナーのような一般会議については、県内の団体等へのセールスを強化しており、令和2年11月1日から受付を開始し、令和3年11月分の利用について問い合わせをいただいている状況である。

➤ 開催が決定・内定した全国大会等（※公表可能な案件）

①令和3年11月	全国スーパーマーケット協会全国大会	1,000人規模
②令和3年11月	日本小児歯科学会九州地方会	300人規模
③令和4年10月	中小企業団体中央会全国大会	2,500人規模
④令和5年4月	全国経済同友会セミナー	1,200人規模
⑤令和5年5月	日本小児歯科学会全国大会	2,000人規模
⑥令和5年10月	秋季日本歯周病学会学術大会	2,500人規模

➤ 庁内において開催が決定した会議等

①令和4年1月	LRT都市サミット（まちづくり部）	600人規模
②令和4年5月	九州国道協会（土木部）	500人規模

➤ その他

①令和3年11月	FFG（ふくおかフィナンシャルグループ） こけら落としイベント
----------	------------------------------------

【事業者提案におけるMICEの想定開催件数及び利用者数】

区分	事例	規模	件数（件）	利用者数（人）
学会	学会、 国際会議等	500人未満	10	5,800
		500人～1,000人未満	8	13,800
		1,000人以上	6	31,200
		小計①	24	50,800
一般会議等	大会、 総会、 シンポ、 セミナー、 会議、 研修会、 講演会、 式典等	500人未満	650	82,500
		500人～1,000人未満	34	26,000
		1,000人以上	14	47,000
		小計②	698	155,500
展示・ イベント等	展示会、 イベント、 コンサート、 即売会等	500人未満	0	0
		500人～1,000人未満	10	7,500
		1,000人以上	43	396,500
		小計③	53	404,000
		合計（①+②+③）	775	610,300

10 MICEブランド開発の取組み

国をはじめMICE先進都市においては、国際会議・学会等を誘致するなかで、開催地としてどんな価値を主催者や参加者に提供できるかというブランドイメージを端的に表現するタグラインやロゴを持つことが一般的である。

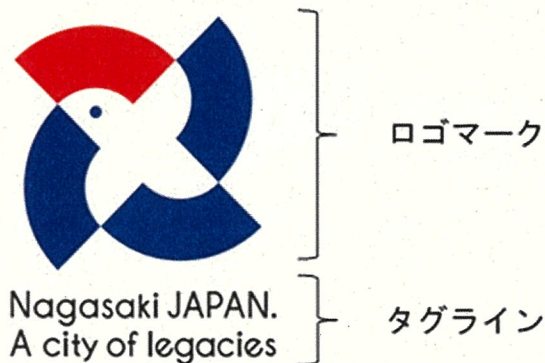
長崎市のMICEブランドのタグラインについては、令和元年度、観光庁の「コンベンションビューロー機能高度化事業」を活用し、高度な専門知識と国際ネットワークを有するGaining Edge社のマイク・ウィリアムズ氏に指導・助言いただき、

「Nagasaki JAPAN. A city of legacies」

に決定したところである。(令和2年6月市議会 所管事項調査にて報告)

これを踏まえ今年度も引き続きマイク・ウィリアムズ氏監修のもとロゴマークを作成し、決定した。今後は、このタグラインとロゴマークを「なぜ長崎市で会議・学会等を開催する意義があるのか」を主催者・参加者にわかりやすく伝えるメッセージとして、国際会議・学会等の誘致活動に活用していく。

(1) ロゴマーク及びタグライン



(2) ロゴマークのデザインコンセプト

「交流の風が世界をより平和で豊かな次代へ導く」

4つの出島の形状は、長崎の人、歴史、文化、遺産など、交流のDNA（スパイラル）を受け継ぐ長崎MICEの意思を表している。その意思は社会に変化（風）を起こす風車となり、世界をより平和で豊かな次代へ導く鳥（鳩）へと変化する。

世界とつづく長崎の空・海のブルーと交流の体温を表すレッドをコンセプトカラーに指定している。

【参考】

1 長崎市のブランドタグライン

「Nagasaki JAPAN. A city of legacies」 ※ legacy（レガシー）＝遺産

2 タグラインの考え方

長崎は、国際貿易の道を切り開き、新しいアイデアを日本にもたらしたオープンマインドな都市であることから、平和、おもてなし、文化の多様性といった遺産を世界と共有し、国際会議開催後のレガシー創出に寄与する。

【参考】グローバル MICE 都市のブランドタグラインの例

横浜市 YOKOHAMA, Japan's First Port of Call

広島市 HIROSHIMA, JAPAN Meeting Resolutions

北九州市 Kitakyushu, Japan TRANSformative Meetings



(観光庁資料)